

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-85838

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月30日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/50

G 0 6 F 15/60

6 8 0 F

A 4 1 H 43/00

A 4 1 H 43/00

Z

G 0 6 F 15/60

6 2 4 A

審査請求 未請求 請求項の数17 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-171215

(22) 出願日 平成10年(1998) 6月18日

(31) 優先権主張番号 特願平9-183868

(32) 優先日 平 9 (1997) 7 月 9 日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000003159

東レ株式会社

東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

(72) 発明者 加藤 光章

滋賀県大津市園山1丁目1番1号 東レ株式会社滋賀事業場内

(72) 発明者 関口 憲恒

滋賀県大津市園山1丁目1番1号 東レ株式会社滋賀事業場内

(72) 発明者 杉村 和子

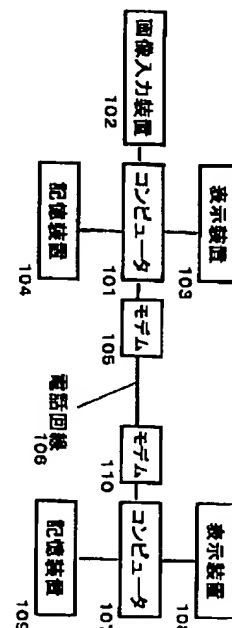
東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号  
東レ株式会社東京事業場内

(54) 【発明の名称】 採寸情報保存方法および装置

(57) 【要約】

【課題】計測者が記入した顧客の採寸値および注釈等の文字情報のみの採寸情報を利用して、型紙データ作成者が型紙を作成する際に、顧客の体型を把握しやすくするための採寸情報保存方法および採寸情報保存装置を提供すること

【解決手段】画像入力手段により人間の全身あるいは体の一部を撮影し、入力した全身あるいは体の一部の画像を採寸情報に付加して保存する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】物体の画像データを入力する画像入力手段と、物体を採寸した採寸情報を入力する採寸情報入力手段と、前記画像入力手段により入力された物体の画像データを前記採寸情報入力手段により入力された採寸情報に結合させて保存する記憶手段を有することを特徴とする採寸情報保存装置。

【請求項2】前記画像データは、物体を複数の方向から撮影した画像を含むものであることを特徴とする請求項1に記載の採寸情報保存装置。

【請求項3】前記画像データは、物体を第一の方向から撮影した画像と前記第一の方向と交差する第二の方向から撮影した画像とを含むものであることを特徴とする請求項2に記載の採寸情報保存装置。

【請求項4】前記画像データは、物体を第一の方向から撮影した画像と前記第一の方向と交差する第二の方向から撮影した画像と前記第二の方向と相対する第三の方向から撮影した画像とを含むものであることを特徴とする請求項3に記載の採寸情報保存装置。

【請求項5】前記採寸情報は、物体の形状に関する定性的な評価を表わす情報を含むものであることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項6】前記画像入力手段により入力された物体画像データを出力する画像出力手段を有することを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項7】前記画像入力手段により入力された物体画像データおよび前記採寸情報入力手段により入力された採寸情報を結合させて伝達する伝送手段を有することを特徴とする請求項1から6のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項8】前記物体が、人間の全身またはその一部であることを特徴とする請求項1から7のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項9】さらに物体に適用する物品の製造仕様に関する情報を入力する製造仕様入力手段を備え、前記記憶手段は、該製造仕様入力手段により入力された物品の製造仕様を前記採寸情報入力手段により入力された物体の採寸情報に結合させて記憶するものであることを特徴とする請求項1から8のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項10】さらに衣服を着用する顧客に関する情報を入力する顧客情報入力手段を備え、前記記憶手段は、該顧客情報入力手段により入力された顧客情報を前記採寸情報入力手段により入力された顧客の採寸情報に結合させて記憶するものであることを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項11】前記画像入力手段により入力された物体の画像データを、圧縮する画像データ圧縮手段を有する

ことを特徴とする請求項1から10のいずれかに記載の採寸情報保存装置。

【請求項12】物体の画像データを入力し、該物体の採寸情報を入力し、入力した前記物体の画像データと入力した前記物体の採寸情報とを結合させて記憶手段に記憶することを特徴とする採寸情報保存方法。

【請求項13】入力した前記物体の画像と入力した前記物体の寸法とを結合させて遠隔地に伝達することを特徴とする請求項12に記載の採寸情報保存方法。

【請求項14】物体の画像データを入力し、該物体の採寸情報を入力し、前記物体に適用する物品の製造仕様を入力し、前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様を結合させて保存および/または伝達し、保存および/または伝達された前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様に基づいて前記物品を製造することを特徴とする物品の製造方法。

【請求項15】請求項12に記載の採寸情報保存方法の各手順をコンピュータを用いて実施できるようにコンピュータを動作させるソフトウェアを記録した記憶媒体。

【請求項16】請求項14に記載の方法により製造された物品。

【請求項17】着用者の画像データを入力し、該着用者の採寸情報を入力し、前記着用者が着用する衣料・服飾品の製造仕様を入力し、前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様を結合させて保存および/または伝達し、保存および/または伝達された前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様に基づいて前記衣料・服飾品を製造することを特徴とする衣料・服飾品の製造方法。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、衣服のオーダー販売等において用いられる人体等の物体の採寸情報の保存方法および保存装置ならびにかかる方法を利用した衣料・服飾品の製造方法およびかかる製造方法により製造された物品に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】従来、衣服のオーダー販売等において、顧客の名前・住所などの顧客の管理情報や店頭等で測った顧客体型の採寸値を記録するのにオーダーシートが用いられ、オーダーシートに記録された採寸値を元に型紙データ(本発明において、衣料・服飾品のパーツの寸法データおよびこれを紙などの具現化した型紙を総称して型紙データと呼ぶ)を作成し、それに基づいて衣服、アクセサリ等の衣料・服飾品の製造を行っていた。オーダーシートには、採寸値の他に顧客が上がり肩なのか下がり肩なのか、肉付きがどうか、屈伸・反身がどの程度かといった定性的な情報等が記入されることが多い。

【0003】しかし、本発明者の知見によれば、型紙デ

ータの作成者と寸法の計測者が別人の場合、計測者が計測の際に把握する顧客の体型に関する情報のすべてをオーダーシートに記録することが不可能であるために、型紙データ作成者が型紙データを作成する際にオーダーシート内の数値と計測者が記入した定性的な注釈とからどのように標準の型紙データを補正するかを正確に把握することが難しく、顧客の体型にフィットした型紙データを作成出来ない場合があった。

【0004】例えば顧客の体型が反身であった場合、通常、計測者は採寸情報の他に「反身であるので前丈が上がっている」といった注釈を記入するが、型紙データ作成者はどの程度反身であるか想像出来ないために計測者に問い合わせることが多かった。また、「屈伸が強い」とか「出尻は中くらい」といった定性的な情報では、それがどの程度なのか型紙作成者に伝わらないことが多かった。

【0005】特に遠隔地で採寸と型紙データの作成とを分業するときには、型紙作成者は顧客の体型を見ることが出来ないため、電話等で計測者に問い合わせることも多く、また電話等で聞いても顧客の体型を想像できないことも多くあり、型紙や衣服が正しく製作できない場合があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述した問題点に鑑みてなされたものであり、型紙データ作成者等の物体の寸法情報を正確に把握すべき人または装置が顧客の体型等の物体の寸法情報を把握しやすい採寸情報の保存方法および保存装置を提供することにある。

【0007】また、本発明の別の目的は、物体の寸法情報等を正確に把握することによって、その物体に適用すべき物品の製造が容易な衣料・服飾品等の物品の製造方法およびかかる製造方法により製造された物品を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明によれば、物体の画像データを入力する画像入力手段と、物体を採寸した採寸情報を入力する採寸情報入力手段と、前記画像入力手段により入力された物体の画像データを前記採寸情報入力手段により入力された採寸情報に結合させて保存する記憶手段を有することを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0009】また、本発明の好ましい態様によれば、前記画像データは、物体を複数の方向から撮影した画像を含むものであることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0010】また、本発明の好ましい態様によれば、前記画像データは、物体を第一の方向から撮影した画像と前記第一の方向と交差する第二の方向から撮影した画像とを含むものであることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0011】また、本発明の好ましい態様によれば、前記画像データは、物体を第一の方向から撮影した画像と前記第一の方向と交差する第二の方向から撮影した画像と前記第二の方向と相対する第三の方向から撮影した画像とを含むものであることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0012】また、本発明の好ましい態様によれば、前記採寸情報は、物体の形状に関する定性的な評価を表わす情報を含むものであることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0013】また、本発明の好ましい態様によれば、前記画像入力手段により入力された物体画像データを出力する画像出力手段を有することを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0014】また、本発明の好ましい態様によれば、前記画像入力手段により入力された物体画像データおよび前記採寸情報入力手段により入力された採寸情報を結合させて伝達する伝送手段を有することを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0015】また、本発明の好ましい態様によれば、前記物体が、人間の全身またはその一部であることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0016】また、本発明の好ましい態様によれば、さらに物体に適用する物品の製造仕様に関する情報を入力する製造仕様入力手段を備え、前記記憶手段は、該製造仕様入力手段により入力された物品の製造仕様を前記採寸情報入力手段により入力された物体の採寸情報に結合させて記憶するものであることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0017】また、本発明の好ましい態様によれば、衣服を着用する顧客に関する情報を入力する顧客情報入力手段を備え、前記記憶手段は、該顧客情報入力手段により入力された顧客情報を前記採寸情報入力手段により入力された顧客の採寸情報に結合させて記憶するものであることを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0018】また、本発明の好ましい態様によれば、前記画像入力手段により入力された物体の画像データを、圧縮する画像データ圧縮手段を有することを特徴とする採寸情報保存装置が提供される。

【0019】また、本発明の別の態様によれば、物体の画像データを入力し、該物体の採寸情報を入力し、入力した前記物体の画像データと入力した前記物体の採寸情報とを結合させて記憶手段に記憶することを特徴とする採寸情報保存方法が提供される。

【0020】また、本発明の好ましい態様によれば、入力した前記物体の画像データと入力した前記物体の採寸情報とを結合させて遠隔地に伝達することを特徴とする採寸情報保存方法が提供される。

【0021】また、本発明の別の態様によれば、物体の画像データを入力し、該物体の採寸情報を入力し、前記

物体に適用する物品の製造仕様を入力し、前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様を結合させて保存および/または伝達し、保存および/または伝達された前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様に基づいて前記物品を製造することを特徴とする物品の製造方法が提供される。

【0022】また、本発明の別の態様によれば、前記採寸情報保存方法の各手順をコンピュータを用いて実施できるようにコンピュータを動作させるソフトウェアを記録した記憶媒体が提供される。

【0023】また、本発明の別の態様によれば、上記のような物品の製造方法により製造された物品が提供される。

【0024】また、本発明の別の態様によれば、着用者の画像データを入力し、該着用者の採寸情報を入力し、前記着用者が着用する衣料・服飾品の製造仕様を入力し、前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様を結合させて保存および/または伝達し、保存および/または伝達された前記画像データおよび前記採寸情報および前記製造仕様に基づいて前記衣料・服飾品を製造することを特徴とする衣料・服飾品の製造方法が提供される。

【0025】本発明において、画像データとは物体をイメージスキャナ、デジタルカメラあるいはビデオカメラなどの画像入力手段で撮影し、コンピュータ等に入力する形で記憶手段に記憶されるデータである。画像データとしては複数の方向から物体を撮影した画像のデータであることが望ましいが単一の方向から撮影されたものであっても良い。複数の方向から撮影した画像データを用いると単一の方向から撮影したデータのみを用いるのに比べ、より立体的に形状を把握できて好ましい。単一の方向から撮影した画像を用いる場合には、物体の姿を最もよく表わすことのできる方向からの画像を用いるのが好ましい。物体が人体の場合、図3(b)に示すように、胸の高さ、出尻あるいは出腹の度合い、反身・屈伸の度合いなどが確認できる側面方向が、型紙を作成する上で人体の形状を最も把握しやすく好ましい。体の幅や肩の傾斜の把握が重要なときには正面から撮影した画像を用いるのが好ましい。

【0026】2つの方向から撮影した画像を用いる場合には、上記方向のほか、これと交差する方向からの画像を用いるのが好ましい。このようにすると、物体の第一の方向への傾きの様子を第二の方向の画像により確認しやすくなる。物体が人体の場合、図3(a)に示すように、体の幅、肩の傾斜が確認できる正面方向からの画像と図3(b)に示す側面方向からの画像を用いると好ましい。さらに第三の方向から撮影された画像を用いるときには、第一および第二の方向のそれぞれと交差しているか、第一または第二の方向のいずれかの反対方向を用いるのが好ましい。なお、上記方向の交差の態様として

は実質的に直交しているのが好ましい。物体が人体の場合には、第一の方向として正面方向を取り、第二の方向としては正面方向とはほぼ直交する側面方向(右側面または左側面)を、第三の方向として正面方向と相対する背面方向を追加するのが好ましい。

【0027】画像を入力する方法としては、ビデオカメラをビデオキャプチャボードを介してコンピュータに接続し、リアルタイムで任意のタイミングでコンピュータに入力できるようにする方法が望ましいが、静止画カメラから静止画像データをデジタル記憶媒体を介して入力するのもよく、また撮影してプリントしたものをスキャナで読み込む方法でも良い。

【0028】本発明において、採寸情報とは、物体の形状を表わす情報を指す。採寸は物体の各部をなんらかの方法で計測してもよいし、CADデータ等から理論的に導きだしても良い。典型的には、人体等の物体の特徴的寸法(たとえば身長、袖丈、胴回り長等)を測定したデータなどが含まれる。物体が人体の場合には、その人体の反身の程度が大きい小さいかなどの姿勢等に関わる定性的な情報等も含まれても良い。このような定性的な情報が含まれていると、より多面的に形状を把握でき、好ましい。

【0029】本発明において、ある情報(たとえば、画像データ)を別の情報(たとえば、採寸情報)に結合させて保存または伝達するとは、前記ある情報と前記別の情報を少なくとも一方の情報から他方を容易に見出せるように関連づけて保存または伝達することをいう。たとえば、両者を同一のデータベースファイルの同一のレコードの別のフィールドに保存したり、互いに別のファイルに保存してあっても、一方を保存するデータベースのフィールドとして他方のデータベースファイルやその中のレコード番号等を保存しておくなどの関連付けが行われている状況を指す。

【0030】本発明において、伝達するとは、情報を伝送手段により伝えることを指し、異なるコンピュータあるいはその周辺機器などの間でデータのやり取りをすることを含む。また、遠隔地とは物体の採寸情報を採取している現場からみて情報の伝達を受ける装置または人の位置を指し、その位置関係が伝達を受ける位置にいる人が直接採寸現場の詳しい様子を把握できない程度に離れているような位置を指す。典型的には衣料・服飾品の店舗で採寸したデータが伝送されるアパレル工場などが店舗からみて遠隔地となる。

【0031】本発明において、記憶手段とは、コンピュータ等に内蔵されたRAM(Random Access Memory)等の揮発性記憶手段やコンピュータのハードディスク等の外部記憶装置などを指す。遠隔地等への伝送を伴う場合には、採寸データの入力側では情報の保存は揮発性記憶手段とし、それをただちに伝送してデータの受取り側で外部記憶装置等に保存するのもよい。

【0032】本発明において、伝送手段とは、LAN(Local Area Network)やRS-232C等のコンピュータまたは周辺機器間のデータ伝送手段や、公衆電話回線や放送電波などの伝送回路といったオンライン伝送手段や、フロッピーディスクといったオフライン伝送手段を含む。特に、オンライン伝送手段によりデータを伝送するのがリアルタイム性に優れているため好ましい。

【0033】本発明において、出力手段とは画像データ等の情報を表示するディスプレイ画面等の表示装置やハードコピーを得るためのプリンタ装置等が含まれる。

【0034】本発明において、物品の製造仕様とは、物品を適用すべき物体の採寸情報をはじめとする製造上利用される各種データを指す。採寸情報以外の製造仕様としては、衣服の材質や形状、仕上げ方法等に関する情報などがある。

【0035】本発明において、顧客情報とは衣服を購入する顧客の氏名、住所、年齢などの個人的な情報と、個々の顧客を区別するための顧客コード(管理番号)などからなる情報を指す。

【0036】本発明において、採寸情報の入力手段、製造仕様の入力手段などとしては、キーボード等の文字入力装置、マウス等のポインティングデバイス、バーコードリーダ、OCR(Optical Character Recognition)装置等の機械的入力装置などいずれであってもよい。

【0037】本発明において、画像入力手段としては、ビデオカメラなどの動画入力手段、スチルビデオカメラ、イメージスキャナ等の静止画入力手段などが用いられる。

【0038】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施態様例である衣料・服飾品のイージーオーダーシステムを説明する構成図である。

【0039】(101)は処理を行うコンピュータ、(102)は全身画像(画像データ)を入力する画像入力装置、(103)はコンピュータ内に取り込まれた画像や採寸情報等を表示する表示装置、(104)は全身画像や採寸情報、製造仕様を保存する記憶装置(ハードディスク)、(105)は電話回線(106)とコンピュータ(101)を接続するためのモデム、(106)は全身画像や採寸情報、製造仕様を送信する電話回線、(107)は全身画像や採寸情報、製造仕様を受け取るコンピュータ、(108)は受け取った全身画像や採寸情報等を表示する表示装置、(109)は受け取った全身画像や採寸情報、製造仕様を記憶する記憶装置、(110)は電話回線(106)と受け側コンピュータ(107)を接続するためのモデムである。(106)の電話回線の代わりに、専用線を引いたり、デジタル電話回線を使用しても良い。その際には、モデムの代わりにターミナルアダプタ等を利用する。

【0040】本実施態様では、オーダーシートのデータ

(採寸情報や製造仕様)と顧客の全身画像とを関連づけて保存および/または伝送することにより、型紙データ作成者に顧客の体型を把握しやすくする。その方法について具体的に説明する。

【0041】画像入力装置(102)で撮影された全身画像はコンピュータ(101)によりメモリ内に取り込まれ、表示装置(103)に表示される。表示例を図2に示す。(201)は最終的にハードディスクに保存されるべき全身画像を表示するメインキャンバス、(202)は画像入力装置(102)から送られてくるリアルタイムの画像(ファインダー画像)を表示するサブキャンバス、(203)は画像入力装置を切り替えるラジオボタン、(204)は画像の回転角度を切り替えるラジオボタン、(205)は正像・鏡像を切り替えるラジオボタン、(206)はサブキャンバス(202)に表示されたファインダー画像から保存データとして取り込む瞬間を指定するシャッターボタン、(207)は顧客コード(管理番号)を入力するテキストボックス、(208)は顧客の正面の全身画像(第一の方向から撮影した画像)を記憶装置(104)に保存する正面保存ボタン、(209)は顧客の側面の全身画像(第二の方向から撮影した画像)を記憶装置(104)に保存する側面保存ボタン、(210)は顧客の背面の全身画像(第三の方向から撮影した画像)を記憶装置(104)に保存する背面保存ボタン、(211)は顧客の正面の全身画像を表示装置(103)に表示する正面確認ボタン、(212)は顧客の側面の全身画像を表示装置(103)に表示する側面確認ボタン、(213)は顧客の背面の全身画像を表示装置(103)に表示する背面確認ボタンである。

【0042】まず画像入力装置(102)で撮影された全身画像はコンピュータ(101)によりメモリ内に取り込まれ、ファインダー画像としてリアルタイムでサブキャンバス(202)に表示される。この際、ラジオボタン(203)により入力する画像入力装置を切り替えることが可能である。店舗においてコンピュータと画像入力装置を他の目的、例えば顔のみを撮影するのに用いる場合、2つの映像入力装置を設置し、1つを顔撮影用、もう一つを全身撮影用に固定し、切り替えて使うことにより画像入力装置の位置や拡大率の調整が不要となる。

【0043】また、ラジオボタン(204)により、サブキャンバス(202)に表示された画像から記憶装置(104)に保存する画像を得るためにサブキャンバス(202)のファインダー画像を90度右または左に回転した上で保存することが可能である。通常、ビデオカメラやデジタルカメラなどの画像入力装置で撮影した画像は横長であるため、全身を撮影すると左右に大きく余白が空き、全身はそれほど大きくは撮影できない。画像入力装置を縦にすることで全身を大きく撮影することが

可能であるが、表示装置に表示する際、そのままでは全身が横になって表示される。そこで、入力する画像を90度右又は左に回転させる本機能により、全身画像を縦に大きく表示可能となる。

【0044】また、ラジオボタン(205)により、保存する画像の左右を反転させることが可能である。これにより、鏡に映るのと同様の全身画像がファインダーサブキャンバス(202)に表示され、顧客が右に動けばサブキャンバス(202)の全身画像も右に動くため、顧客が自分の立つ位置が決め易くなる。

【0045】サブキャンバス(202)に所望の全身画像が表示されれば、シャッターボタン(206)を押すことにより、リアルタイムで表示されているファインダー画像から保存すべき画像を取り込む瞬間が指定され、取り込まれる。そして、取り込まれた全身画像がメインキャンバス(201)に大きく表示される。

【0046】記憶手段に保存する全身画像は、図3に示すように顧客を正面から撮影した全身画像の他に、側面から撮影した全身画像(図3(b))と背面から撮影した全身画像(図3(c))があると望ましい。本発明者の知見のよれば、正面の全身画像からは顧客の体の幅や肩の傾斜などが確認でき、側面の全身画像からは胸の高さ、出尻あるいは出腹の度合い、反身、屈伸の度合いなどが確認でき、また背面の全身画像からは肩の傾斜、腰の張り具合などが確認できる。目的に応じて正面のみ、あるいは側面のみからの画像を利用すれば良い。正面の全身画像と側面の全身画像の2枚を組み合わせることで顧客の体型をある程度把握できるが、この2枚に加えて背面の全身画像を組み合わせると、さらに顧客の体型を詳細に把握できて望ましい。また、正面画像と背面画像とのみを用いても良いし、単一の方向から撮影した画像のみを用いても、本発明の目的をある程度達成できる。

【0047】本実施例では、正面、側面、背面の3枚の全身画像を撮影し、記憶装置に保存する方法について述べる。

【0048】まず、テキストボックス(207)に顧客コード(管理番号)を入力する。入力漏れを防ぐため顧客コードを入れずにシャッターボタン(206)を押すと、顧客コードの入力を促すメッセージが表示されるようになっている。

【0049】次に、顧客にカメラに向かって正面に立ってもらう。サブキャンバス(202)に顧客の正面の全身画像が表示されるのを確認し、シャッターボタン(206)を押すと、メインキャンバスに全身画像が表示される。このとき正面保存ボタン(208)を押すと、メインキャンバスに表示されている正面の全身画像が、顧客コードに正面を表すコード(例えばF)を付加したファイル名で記憶装置に保存される。

【0050】同様に、顧客の側面についても撮影し、側面保存ボタン(209)を押して、側面の全身画像を、

顧客コードに側面のコード(例えばS)を付加したファイル名で記憶装置に保存する。背面についても同様に背面保存ボタン(210)を押して、背面の全身画像を顧客コードに背面のコード(例えばB)を付加したファイル名で記憶装置に保存する。これら3枚の全身画像は、正面確認ボタン(211)、側面確認ボタン(212)、背面確認ボタン(213)を押すことにより、所望のものが保存されたかどうかを表示装置(103)に表示して確認できる。

【0051】本実施態様例では、顧客の全身を撮影・保存したが、図4に示すように体の一部であっても問題ない。

【0052】図5は、衣料・服飾品の製造仕様を示したオーダーシートの一例である。本実施態様例においては、このオーダーシートに対応するコンピュータデータベースをコンピュータ101および/または107の記憶手段104および/または109に保存および/または伝達する。バスト・ウエスト・肩幅・袖丈等の定量的な採寸値の他に、反身・屈伸の強さ、上り肩・下り肩の強さ等の定性的な採寸情報が顧客の名前・住所・管理番号等の顧客管理情報とともに記入される。また、個人の体型についての注意点が文字で記入されている。保存した全身画像は、オーダーシート内の顧客の管理番号と対応づけられているため、あとから参照が可能である。このように、入力された画像データと採寸情報と顧客管理情報とを結合させて保存および/または伝達するようになっている。なお、衣料・服飾品の詳細な仕様も結合して保存してもよい。また、こうしたオーダーシートの情報は顧客の詳細な管理データベースから参照できるようになっており、どの顧客がどのような衣料・服飾品をオーダーしたかが簡単に調べられるようになっている。

【0053】通常、オーダーシート記入者と型紙データ作成者は別人であるため、採寸値と注釈等の文字情報のみのオーダーシートから顧客の体型にフィットした型紙データを作成することは困難であった。本実施態様例を用いることで、数値と文字だけでは伝わらなかった情報が、顧客の姿の画像を用いることで視覚的に伝わり、顧客にフィットした型紙データを作成することが容易になる。

【0054】顧客の画像は、プリントアウトしてオーダーシートに張り付けても良いし、図1に示すように電話回線(106)を使って送信しても良い。送信するデータ量を減らすため、全身画像を保存する際には白黒画像化するなど減色したり圧縮ルーチンを用いて圧縮するのが望ましい。受け側コンピュータ(107)は受信した全身画像を記憶装置(109)に保存し、表示装置(108)に表示する。オーダーシートはFAXで送っても良いし、コンピュータに入力して全身画像とともに電話回線(106)で送っても良い。

【0055】送られたオーダーシートに記入されている

採寸情報と顧客の全身画像から、型紙データ作成者によってマスター型紙が顧客にフィットした型紙に修正される。作成された型紙データは縫製工場に送られ衣服が製造される。

【0056】以上、衣服のイージーオーダーに適用した例を説明したが、これに限らず例えば、メガネや靴などのオーダーメイドに利用したり、工業製品などで試作品を大量生産する際に、試作品の三面図に試作品全体の撮影画像を組み合わせることで形状を把握しやすくする等の応用が可能である。

【0057】上述のように、上記実施態様の採寸情報保存方法は、コンピュータとこれを動作させるプログラム等により実現されている。上記のプログラムおよび各種記憶手段のデータはフロッピーディスク、CD-ROM等の有形記憶媒体あるいは有線もしくは無線のネットワーク等の伝送手段等により流通される。

【0058】

【発明の効果】このように本発明によれば、衣服のイージーオーダー販売等において、画像入力手段により入力した画像データを採寸情報と注釈のオーダーシートに付加するなどして保存する採寸情報保存装置が提供される。これにより、型紙データ作成者が顧客の体型を把握しやすくなり、顧客の体型にフィットした型紙を容易に

作成しやすくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施態様のハードウェア構成を説明する構成図である。

【図2】本発明の一実施態様の撮影時の画面表示例である。

【図3】本発明の一実施態様の顧客の全身画像の例である。

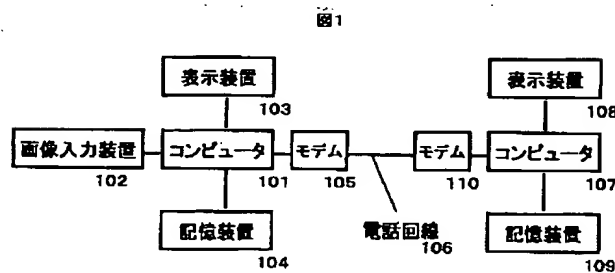
【図4】本発明の一実施態様の顧客の体の一部の画像の例である。

【図5】本発明の一実施態様のオーダーシート画面の例である。

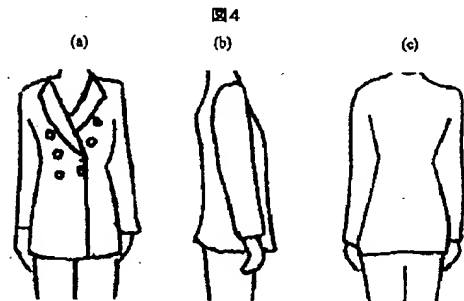
【符号の説明】

- 101・・・コンピュータ
- 102・・・画像入力装置
- 103・・・表示装置
- 104・・・記憶装置
- 105・・・モデム
- 106・・・電話回線
- 107・・・コンピュータ
- 108・・・表示装置
- 109・・・記憶装置
- 110・・・モデム

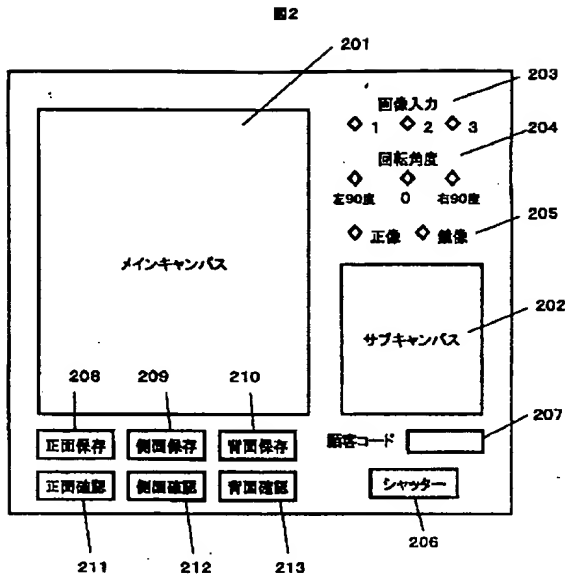
【図1】



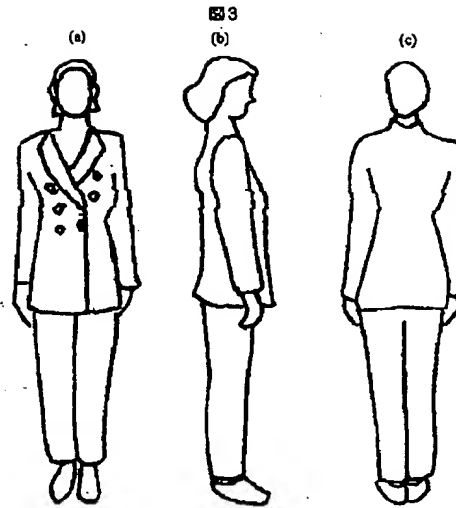
【図4】



【図2】



【図3】



【図5】

図5

オーダーコード	
顧客コード	
名前	
住所	

バスト	cm
ウエスト	cm
ヒップ	cm
肩幅	cm
着丈	cm
袖丈(右)	cm
袖丈(左)	cm
屈伸	強・弱
反身	強・弱
上り肩	強・弱
下り肩	強・弱